

社員教育(4)

### 家族友人と楽しむ保養所での「週末農園」

(株)CDMコンサルティング  
代表取締役/研修講師  
林 三津子

企業の保養所のあり方が、大きく変化してきている。

昨今、保養所の利用状況は年々減少する傾向にあり、ここ数年、多数の保養所が閉鎖された。また、ホテルや旅館等と同様、外資系のホテル運営会社等へ、驚くほどの安価で買収されていくケースも珍しくない。

各企業がこぞって保養所建設に挑んだ高度成長期には、他に宿泊施設やレジャー産業も少なく、風光明媚な場所に、充実した施設を構え、安く利用できる保養所は、社員にとってのオアシスであった。

しかし、保養所よりも安価で快適な宿泊施設が多数出現し、顧客ニーズが多様化する現在では、窮屈でアミューズメント性(楽しみ・娯楽)に欠ける保養所は、もはやその役割を果たせなくなっている。

そのため各企業は、保養所のあり方についての決断を迫られている。

そのような中、某大手メーカーの「保養所再建(5ヶ所)」で、保養所の「サービス形態の見直し」と「スタッフ研修」を、ここ3年間担当している。

この会社の保養所も、ここ数十年ずっと赤字続きで、健康保険組合のいわば“お荷物的施設”となっていた。そのため、数年前には1箇所もあった保養施設が、研修を開始した3年前には5箇所に減少していた。しかしその規模は、東京ディズニーランド程、巨大な敷地のものもある。

「陰の副支配人」等と令やかされながらも足繁く保養所へ通い、支配人達と改善を図ってきて、少しずつ成果もあがり、今では、前年対比二桁アップの業績を続けている。

この「保養所再建」に係わる中で、特に重要と思う課題は次の3つであり、これらは、どの業界にも通じることだと思ふ。

1)顧客のセグメント誰のための施設であるのか？」

ターゲットとなる利用者は、出資者でもある労働組合の組合員である。保養所は、これら利用者のニーズを最大限優先した運営でなければならない。しかし、この基本が忘れられていた。もっとも、数十万人(家族やグループ会社を含めると)にもものぼる利用者のニーズを収集することは至難の技ではあるが…。よって、長年、現場責任者やスタッフの、思い込みや都合で運営されてきた。そして、保養所は利用者から殆ど忘れ去られた存在となっていた。

そこで、「保養所・思い起しキャンペーン!」を提案し、まずは組合員の皆様に保養所を思い出して頂くため、「HPの見直し」や利用者の「情報(不満・要望)収集」からスタートさせた。また、施設の利用機会頻度を高めるため、組合員(家族を含む)のみならず、その友人や知人にも利用して頂けるよう、制度を改善した。

2)保養所のコンセプトの見直し  
多様なニーズに振り回され、目的が明白でないマルチ施設となっていた。

そのため、今一度、各保養所のコンセプトを整理し、その目的を「リゾート」と「研修施設」に絞り込み、その運営のあり方を検討した。

リゾート施設としては、「楽しい」「嬉しい」「ためになる」、そして「癒し」をモットーに、また、研修施設としては、「楽しく学ぶ」「快適な環境」「充実した施設」、そして「気分転換」をモットーに、コンセプトの見直しを図った。

3)様々な企画の提案

スタッフで構成している「CS向上委員会」のメンバーが中心となり、利用者アンケートや研修会での意見を参考に、ホスピタリティー・マインド(もてなしの心)溢れる様々な企画を考案した。例えば、ヤングファミリー向け「週末農園」や、熟年夫婦向け「(社交)ダンスパック」やさしHP

「教室」、女性グループ向け「カラオケ教室」「陶芸教室」、そして、定年後の熟年男性向け「そば打ち教室」「絵画教室」などなど。

とりわけ、全てのジャンルの方々に人気の高かった、敷地の一部を農園として開放した、「週末農園」についてお話をしてみたい。

週末に家族や友達同士で保養所へ出かけ、野菜づくりや土いじりを楽しむ。自分達が育てた野菜が保養所の食卓にでてくる。それらを皆で分け合いながら食す。そこには、都会生活では味わえない醍醐味がある。（「農業はそんなあまいものではない」と、皆様には叱られそうな企画ですが...）

そして、土いじり野菜づくりを通じ、親子や兄弟のみならず、他組合員等との新たな「ふれあい」も生まれ、また役所や、近くの農家の方々の協力を頂くことで、保養所と地域社会との連携も高まった。

ここ「週末農園」には、いじめも、落ちこぼれも、そして挫折もない。ここにあるのは、美味しい野菜と、空気と、そして笑顔と、明るい笑い声だけ。農作物を育む子供達の、大人の目は、どれも好奇心に満ち溢れたていた。これが、この企画の最高の副産物であったに違いない。自然の力って素晴らしいなあ、と、しみじみ感じ入った「研修会」であった。

## 法人協会ニュース

### 出展 参加料無料！！ 加工・業務用野菜マッチングイベント」に参加しませんか？

来る3月2日、大阪にて野菜産地と外食・中食などの実需者とのマッチングイベントが開催されます。農水省のバックアップにより、出展・参加料は無料です。給食関連企業、冷凍・カットの食品関連企業、商社などが来場し、直接交渉が可能です。かなり「お得」な展示会ですので、是非ご参加下さい。詳細は当協会まで！

日時：2007年3月2日（金）10:00~16:00

場所：京セラドーム大阪（旧称・大阪ドーム）

開催内容：

野菜とその一次加工品等の展示・試食

セミナー・トークショー、野菜メニューの提案等

出展 参加料 無料

申込締切：2007年1月10日

お申込方法：事務局もしくは後日掲載予定の協会HPをご覧ください。

(TEL:03-5156-0365 E-Mail:ara@nca.or.jp)

## 第4回実践企業的経営体養成研修会の開催について

企業的経営を行う方々に対し、経営に役立つ様々なプログラムを2日間受講していただくもので、担い手育成総合支援事業に基づき実施いたします（会員以外の方もご参加いただけます）。なお、会場までの交通費や宿泊費等は各自にてご負担いただきますが、受講料は無料です。参加をご希望の方は、別紙の申込書にご記入の上、FAXにて平成19年1月10日（水）までにご返信下さい。

1. 日時：1月18日（木）～19日（金）

2. 場所：ホテルモントレ大阪

3. 研修内容（カリキュラム）：

研修 1（1月18日 13:00～15:00）

・テーマ「活躍する女性リーダーに学ぶ」

講師：湯本 壬喜枝氏

（アメリカンファミリー生命保険会社 顧問）

研修 2（1月18日 15:10～17:10）

・テーマ「商品開発（ヒット商品・ブランドの確立）の実践」

研修 3（1月18日 17:20～18:30）

・「グループディスカッション」

研修 4（1月19日 9:00～12:00）

・テーマ「OJT/社員教育の進め方」

講師：多賀 貴志氏

（多賀貴志社会保険労務士事務所 代表）

## 電話会議システムを導入しました

事務局にて電話会議ができるようになりました。現在すでいくつかの会議を行いました。結構使えます。今後の会議にも活用していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

### アグリビジネス経営塾 第320号

本紙に関するお問合せは下記までお願いします。  
社団法人日本農業法人協会

（HP <http://www.hojn.or.jp/>）

TEL:03-5156-0365/ FAX:03-5156-0366

MAIL: [juku@hojn.or.jp](mailto:juku@hojn.or.jp)

© (社)日本農業法人協会 2006

本紙掲載記事の無断転載を禁じます。